



シチリア

ツーリズムと考古学が見事に
調和して共存する場所

イントロダクション

歴史家は、シチリアがその歴史を通じて歴史的・文化的出来事に重要な役割を果たしてきたのは、ヨーロッパとアフリカの間となるその地理的位置が要因だといいます。最初の移住者は30万年前にこの島に降り立ち、島の大きさ、天候、そして足を踏み入れることができないような土地から肥沃な土地へと移っていく地形の多様さに魅了されました。こうしたはるか昔の日々はエーガディ諸島の一つであるレヴァンツォ島にあるジェノベーゼの洞窟、ペルグリノ(パレルモ)山のふもとにあるアダウラ洞窟の壁画からうかがい知ることができます。また、カステッラマーレ(トラパニ)のウツォ洞窟で発見された絵には有史前の航海術が描かれています。石器時代以降は、消えない歴史の跡が石器、陶磁器、街並み、墓地遺跡に刻まれてきました。狩猟、漁獲、農耕そして金属製の武器の製造にいたるまで、初期の人類の活動を伝えています。エリミ人、シカニ人、シセル人、フェニキア人、モルゲート人、ギリシャ人、ローマ人が暮らした日々へと歴史をさかのぼる旅です...



エーガディ諸島に属するレヴァンツォ島の西海岸にあり、息を飲むような景色に囲まれたジェノベーゼの洞窟では、さかのぼることおよそ11000年前の古代の人々の島での生活を見ることができます。旧石器時代の版画や石器時代の洞窟壁画には、鹿、馬、牛、魚、人物が描かれています。





シラクサのサントリノ村から35キロ、パンタリカにあるほぼ原形をとどめた巨大な墓地遺跡です。墓地には紀元前13世紀から8世紀にかけて岩を掘って作られた5000を超える洞窟があります。アナボ川の谷にあり、シチリア島東部で美しい自然の景色を楽しむ場所の一つです。



現在のサントランジェロ・ムクサーロはプラタニ川の中流を見渡せる小高い丘の上にあります。古代ギリシャ都市カミコの跡地だと信じる人もいます。岩を掘った典型的な円蓋墓で、紀元前 8 世紀から 7 世紀に作られたものです。



シ カニ人はエリチェを築いたエリミ人によって島を追われます。エリチェ山頂にあるこの町は長い間ウェヌス・エリュキナ信仰で知られてきました。かつてはエリミ人が暮らし、その後カルタゴ人やローマ人に支配されたこの町を訪れると、完璧な形で残された中世の村を見ることができます。



ノバルバロ山の周辺にエリミ人はセジェスタを建て、この都市は貿易の中心地として栄えました。現在は、劇場の他、辺鄙な丘の上に建てられたドリス様式神殿が完璧に保存されており、息を飲むほど美しいエリアです。





夏の夜には、この劇場は演劇やコンサートが開催される魅力的な会場になり、シチリアの長い夏に魔法のような不思議な雰囲気を添えてくれます。



／^ノロレルモとソレントとともに、モツィアは地中海におけるフェニキア人の貿易ルートの要塞でした。はるか昔フェニキア人の船にとって理想的な拠点であったスタニョーネやその島々があるエリアの海では、かつてこうしたルートを通して航行していた船の積荷にも含まれていた貴重な海産物を今でも採ることができます。

イギリス人考古学者ジョセフ・ホイッ
ティカーにちなんで名前が付けられ
た小さな考古学博物館には、紀元前5世紀
に作られた言葉では言い表せないほど美
しい彫像ジョーヴィネ・ディ・モツィア
をはじめ、島で発見されたほとんどの品
が所蔵されています。



8世紀にギリシャによる植民地化が始まった時、この島はすでにミケーネ人とフェニキア人と交流がありました。2世紀足らずで、栄華を極めた都市ナクソス-おそらくシチリア島最古の都市-がエウベアのハルキダ人によって、ロニアン沿岸のエトナ山から海へと広がるエリアに築されました。しかし、この都市はシラクサと対立状態にあり、僭主ディオニシウス1世によって403年に滅ぼされました。





シチリア島の海岸沿いに発展した植民地には、カターニア、レンティーニ（紀元前728年）、メガラ・イブレア（紀元前727年）、ミラッツォ（紀元前715年）、ジェーラ（紀元前688年）などがあります。



古代ギリシャの植民地だったシラクサで見つかった数多くの遺跡、その記念建造物、都市の歴史的地区をまわる観光ルートは、訪問者にとって興味深いものでしょう。ギリシャが支配していた時代の生き生きとした芸術および社会生活を最もよく伝えているのが、シチリア島の古い劇場でしょう。最も大きく有名な劇場はシラクサにあり、紀元前5世紀に建てられたものです。後に、ヒエロン2世によって改築されています。

劇場の周りに発展した古代のネアポリスは魅力的な観光スポットです。ネアポリスに沿って、美しい公園の中にある古代の石切り場やディオニシオスの耳と呼ばれる洞窟を見ることができます。







シ チリア島のドリス建築の中心
だと考えられているセリヌン
テは、アクロポリスから海へと広がる270ヘクタールに及ぶ、地中海最大の考古学地区の一つです。古代都市の遺跡-円柱、装飾が施されたタンパン、後に部分的に再建築された神殿の跡-が魅力的です。



セリヌンテから13キロほどの場所にあるカンポベッロ・ディ・マツァーラには、カーヴェ・ディ・クーザと呼ばれる石切り場がある考古学地区があります。建物を建築するために大きな石の塊を切り出していた場所です。





フェニキア人の集落ソレントからほど近く、カタルファーン山の頂上近くに位置するイメラは、テルミニイメレゼの海の正面、2つの川が交わる高台に発展しました。イメラではアグリジェントとシラクサの人々が同盟を結んでいましたが、カルタゴ人の艦隊によって紀元前480年に滅ぼされました。勝利の神殿があった場所には家々が建てられ現在はほぼ残っていませんが、丘で発見された共同墓地と合わせて、収蔵館で様々なアンフォラや出土品を楽しむことができます。

シエーラからの移住者が僭主タイローンの下で紀元前581年に建てたアグリジェントは、考古遺跡である神殿の谷に完璧な形で残っている数々の神殿から眺めるとわかりますが、素晴らしい古代都市です。これがPindaroがこの都市を「人間が住んだことのある最も美しい都市」と評した理由です。カルタゴ人に破壊され、後にローマ人に征服されました。ローマ人はこの都市をアグリゲントゥムと呼びました。





今日では、この地域全体がユネスコの世界遺産になっています。



ノルモエリアにあるヤト山で行われた考古学調査によって、エリミ人がフェニキア人やカルタゴ人と交流があったことを示す数々の品がみつかっています。

エ ンナにある伝説的な王モルゲートの町モルガンティーナの考古遺跡では、古くは青銅器時代から新しいものではギリシャ時代やローマ時代まで、複数の時代の品々が数多く発見されています。この遺跡では街並みが原型をとどめており、市場の跡や、モザイク模様に並んだ家々、通路と階段によって広場へとつながる劇場（紀元前3世紀）を見ることができます。



第一次ポエニ戦争でカルタゴ人が敗れた後、ローマ人がこの島を支配し、地方総督の指揮の下でローマの属州になりました。最も栄えた都市の一つがカターニアです。この時代は、シチリア島を効率的に管理し、小麦栽培のための大土地所有制度を普及させ、貿易のために船を建築することに重点が置かれていました。





現在は、古代ギリシャ都市であるティンダリスの考古学地区を訪れると、道路、広場、バシリカ、大浴場、海に面したカウエアがある劇場等、ローマの建築技術が特徴的な街並みを見ることができます。ここからほんの数キロの所には、モザイク画が保管されているパッティのローマンヴィラがあります。



ナトのバロックタウンから2, 3
キロのシラクサでは、テラノの
ローマンヴィラが一般公開されてお
り、美しいモザイク画を見ることが
できます。





壮観なナクソス湾に面したタオルミーナの大きな古代劇場はシチリア島の文化生活の中心的存在です。暖かい夏の夜には、この劇場でコンサートが開かれ、バレエが上演され、イベントが開催されます。そして何と云っても、毎年多くのイタリア人スターそして各国のスターをシチリア島に惹きつける映画祭も開催されています。



カセルのローマンヴィラにあるモザイク画は、シチリア島にあるローマ美術の最も見事な例であり、4世紀の初頭に北アフリカからやってきた芸術家によって作られたものです。細心の注意を払って保存されています。

保存状態がよく、新しく木製屋根が設置されてイルミネーションが施されています。インプルウィウムとヴィラには「欠かせない」庭がある四角形のペリスタイルを周回するルートが魅力的です。



フォトクレジット

カバー-セジェスタの劇場（トラパニ）-写真Francesco D'Alleo
1ページ-シラクサの考古学地区-写真Fotografi Associati
2ページ-エーガディ諸島（トラパニ）のレバンツォ島にある洞穴-シチリアリージョンアーカイブ
3ページ-ペンタリカ（シラクサ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
4ページ-アンジェロ・ムクサーロのネクロポリス（アグリジェント）-シチリアリージョンアーカイブ
5ページ-エリーチェ（トラパニ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Alfio Garozzo
6ページ-セジェスタの神殿（トラパニ）-写真Francesco D'Alleo
7ページ-セジェスタの劇場（トラパニ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
8ページ-モツィアの考古学地区（トラパニ）-写真Francesco D'Alleo
9ページ-ジョーヴィネット・ディ・モツィアの彫像、（マルサラ）-写真ホイッティカー美術館
10ページ-ギリシャ時代の遺跡-シチリアリージョンアーカイブ
11ページ-メガラ・イブラの考古学地区（ラグーザ）-シチリアリージョンアーカイブ
12ページ-シラクサの古代劇場-シチリアリージョンアーカイブ、写真Melo Minnella
13ページ-シラクサの考古学地区-シチリアリージョンアーカイブ、写真Melo Minnella
14/15ページ-セリヌンテの考古学地区（トラパニ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Francesco Italia
16ページ-カンポベッロ・ディ・マツァーラにある石切り場カーヴェ・ディ・クーザ（トラパニ）-写真Francesco D'Alleo
17ページ-イメラの考古学地区（パレルモ）-写真Antonio Ilardo
18ページ-神殿の谷、アグリジェント-写真Fotografi Associati
19ページ-神殿の谷、アグリジェント-写真Francesco D'Alleo
20ページ-ヤト山の考古学地区-シチリアリージョンアーカイブ、写真Walter Leonardi
21ページ-モルゲンティーナの劇場（エンナ）-写真Francesco D'Alleo
22ページ-カタニアにあるローマ時代の円形劇場-シチリアリージョンアーカイブ
23ページ-ティンダリの考古学地区（メッシーナ）-写真Fotografi Associati
24ページ-テラロのヴィラ、ノート（シラクサ）-シチリアリージョンアーカイブ
25ページ-タオルミーナの劇場（メッシーナ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati
26/27ページ-ローマンヴィラ、P.アルメリーナ（エンナ）-シチリアリージョンアーカイブ、写真Fotografi Associati

テキスト

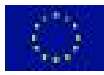
M. Laura Crescimanno

印刷

Officine Grafiche
Soc. Coop.

www.regione.sicilia.it/turismo

欧州連合欧州地域開発基金（ERDF） PO シチリア 2007/13 アクション 3.3.1.Bから資金を得ています。



UNIONE EUROPEA



Regione Siciliana
Assessorato turismo
sport e spettacolo

